

「緑の基本計画」見直しに係る「緑の役割等」について

所属	課題等	左記の理由・背景	必要な視点等
1	上記にもあるように今後の地球環境を考えると一都市、一地域が真剣に自然に対して悪化させないための努力をしなくてはと思う	緑は人間が生きてのにはとても大事である。緑を見れば目も心も落ち着く。未来を背負う子供たちのためにも増やしたいものである。	公園が少ない…。わが地区は空地が高層マンションが立ち並び日の当たる時間が少なくなっている。 市の発展のため多くの人住む町もよいが、開発の際に緑や公園など増やすために行ったほうが未来の市のためになると考える。
2	駅周辺の駐車場を少なくし、電車・バスを利用した移動方法を行政と市民が真剣に取り組みヒートアップにつながるものを排除する。 空地にはミニ公園を作り自治体で管理運営をする。 車道、歩道は太陽熱を増幅するコンクリートから熱を吸収するものに変えていく。専門家に研究していただく。		①道幅の狭いところの街路樹は木が成長するにつれて根が地面や歩道を持ち上げてこぼこの路となり安心して歩ける道になっていない。街路樹を植栽するときには将来を考えて選択して欲しい。 ②自宅の草をごみとして運んでいただいているが、腐葉土として変える設備があると花や樹木の肥料として使うことができる。
3	表題にもありますように「緑の役割」は大変大きい役割を持っていると思います。緑化保全には月日と手間が必要ですが、きれいに整備され目にも優しい環境が表題の目的と考えられます。 整備には経費等の予算が考えられます。	公園等の植栽が手入れがないため伸び放題となり、高さ調整のために上部を切ったため樹形が悪くなり、見栄えが悪化してしまった樹木が見受けられます。	
4	今後の緑の基本計画には事業計画に重点を置くというよりも、管理、利活用といった観点をもっと盛り込むことが必要 既存公園の中には車いすやベビーカー、管理用車両等で進入できない公園がある。 数十年経過している公園の樹木は成長し高木となり、公園の周りの住宅への影響など地域住民の要望への対応 耕作されていない農地への対応	車いす、ベビーカー等で進入できない公園が存在することから利用者が制限されている。また、管理用車両が侵入できないため適切な管理ができていないと感じたため。 公園の周りに樹木が植樹されている場合が多く、特に数十年経過している樹木は成長し高木となり、公園に接している周りの住民から伐採等の要望など、他にもいろいろな住民要望があると思われる。 農地が多い北部地域においても耕作がされていない農地が目立つようになってきたため	街路樹の枯死により伐採された後数年捕植されていない箇所が散見されるが船橋市として街路樹の今後の考え方が不明 また、枯死の原因究明の進捗状況
5	緑の少ない市街地では、街路樹が果たす役割が大きい、適切な剪定管理が行われないと、せっかくの街路樹の機能が発揮できない。 巨樹・名木の保全は歴史的にも景観的にも重要だが、民有地などでは相続等により消失することも多い。	時に必要以上とも思われる強剪定が見られることがある。街路樹剪定士を有効活用 地域のシンボル樹や景観木を景観重要樹木として指定する制度が船橋市にはあるようですが…	10地域それぞれの緑被率・緑満足度 市の顔となる市役所や駅前。幹線道路沿いなどにおける緑視率の測定
6	土の公園は雨の後使用できず、ゴム・アスファルト・コンクリートにすると費用が高くヒートアイランドになるし悩ましいことです。	駅から10分以内に居住しているために近くに緑の多い場所には遠くなり、夏場には熱中症に2回なりかけました。	
7	市で管理する公園は大小あると思います。それぞれの公園の役割を見直し、ニーズに合った公園作りを進めてはどうでしょうか。 例えば新しく開発された住宅地の小さな公園あつでは市民活動や緑化環境の改善といった役割には不向きだと思いますが、災害時の防災公園として充実させれば近所での助け合いがやりやすいと思います。 住宅販売業者の協力を含め住み始める際の周知が必要となる→販売の際の強みになるのでは 基幹公園となる大きな公園などはすでに防災面では充実しているところも多いと思います、しかし、市民活動や憩いの場としての役割を維持・管理していく際自治会やボランティアに頼っている部分が多い。 自治会やボランティアで参加いただいている方々の高齢化や町会に加入しない家庭も増えている現状を踏まえると生涯学習や環境学習の場としての役割をもっと生かして近隣の学校で授業やボランティア活動での利用をもっと増やしてみよう。→市民の会・各学校長・教育委員会への働きかけと協力が必要	新しくできたマンションや住宅地に条例に基づき公園が設置されますが、利用している人をあまり見たことがありません。遊具もなく植物もあまり植えられていない・しばらくすると草だらけになっていて公園としての機能をは果たせているとは思えません→決まっているから作っただけという感じがする。 小中学校や高校など、私の子供が通っているときに生涯学習や環境学習でボランティア活動・職場体験・出前授業・郊外活動といった形で取り入れていた。→他市の活動で近隣の高校生と毎年植え付けをやっているというお話を聞いたことがある。	本市の緑の機能の中で主に「緑豊かな自然と穏やかな田園」、「生物生息・生育の場の確保」「雨水の貯留」といった機能が急激に減少していると思います。私の住んでいる地域は数年前までは休耕作地もありましたが、まだ田んぼや畑が広がる地域でした。しかし後継者不足や市街化が進み調整区域のため田畑のほとんどが資材・トラック・鉄くず置き場に代わってしまいました。景観は悪くなり住みにくくなったと感じています。上下水道も整備されていないため井戸水を利用せざるを得ないため健康面も心配です。
8	公園の植木をすぐに丸刈りする。植木が残念。	公園にグミの木があるが、春先には丸刈りにされている。何のために植えているのか。とげが危険なら他の木に変えるべき。	近隣公園の使い勝手が悪い。管理棟が使えないなら無駄。